

「耐震補強効果の定量的把握に関するワークショップ」

および

「全国主要都市の予測強震動データベース作成とそれによる被害リスク評価に関する研究集会」 合同研究会プログラム

□日 時：平成22年3月1日(月) 13:00～17:30

2日(火) 10:00～17:00

□会 場：京都大学 宇治おうばくプラザ セミナー室4・5

□発表プログラム（敬称略）：

■3月1日(月)

0. 開会の挨拶 川瀬 博

13:00～13:10

1. 耐震補強効果の定量的把握に関するワークショップ

13:10～15:10

司会：松島信一（京大防災研）（各20分(発表15+質疑5)×5題+ディスカッション20分)

1-1 宝音 図（京大防災研） 微動観測による建造物の耐震補強前後の振動特性とその耐震性評価—宇治
キャンパス本館を対象に

1-2 川瀬 博(京大防災研) 変形性能と施工性を考慮した新しい木造家屋の耐震補強工法の提案(仮題)

1-3 Andres Jacobsen(京大防災研) Enhancement of Seismic Performance Using Unequally Slitted
Steel Walls

1-4 境 有紀(筑波大) 地震被害予測を行うための建物群の構築と入力地震動

1-5 中村壮志(竹中技研) 地震応答解析によるRC造被害予測用数値解析建物群モデルの構築

休憩

15:10～15:30

2. 研究会特別セッション 強震動予測の高度化

15:30～17:30

司会：浅野公之（京大防災研）（各20分(発表15+質疑5)×5題+ディスカッション20分)

2-1 笹谷 努(北大) 2007年千島列島中部巨大アウターライズ地震の震源モデル

2-2 佐藤智美(清水技研) 地域性と震源深さ依存性を考慮したスラブ内地震とプレート境界地震の距離減衰式

2-3 岩城麻子(京大防災研) 地震波形インバージョンによる大阪堆積盆地の3次元基盤面形状の推定

2-4 山中浩明(東工大) 地震・微動観測に基づく関東平野の地下構造モデル化

2-5 後藤浩之(京大防災研) 動力学震源モデルパラメタの不確定性

懇親会

17:45～19:45

レストランきはだ（宇治おうばくプラザ内）

